

TOKAI

東海防衛だより

2022
令和4年

春

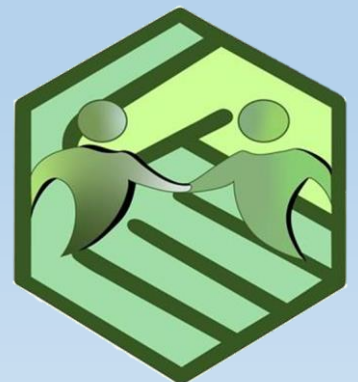


F-2 戦闘機

春号の主な内容

- ◆ 防衛白書地元自治体説明
- ◆ 周辺対策事業の紹介(一般県道岐阜那加線)
- ◆ 愛三岐の街から(大口町)
- ◆ 近畿中部防衛局長感謝状伝達
- ◆ 岐阜基地開庁記念ランウェイウォーク
- ◆ 防災へり防災訓練支援(高蔵寺分屯基地)
- ◆ 東海3県の防衛生産・技術基盤

(三菱重工業(株) 名古屋航空宇宙システム製作所)



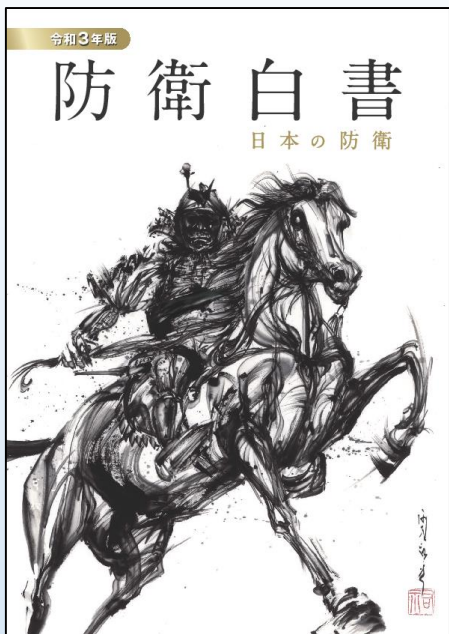
令和3年版 防衛白書 (日本の防衛)

地元自治体への説明

東海防衛支局では、地方協力本部をはじめ管内所在の各部隊等の協力を得つつ管轄区域内の自治体の長等に対し、防衛白書の紹介及び概要の説明を行っています。

防衛白書の説明は、わが国の防衛政策、防衛省・自衛隊の各種施策の基本的事項等について、地域の皆さまにご理解を深めていただくとともに、防衛省・自衛隊と各自治体との連携強化を図ることを目的としています。

今年度も新型コロナウイルスの感染拡大のため予定を延期しましたが、10月に大村愛知県知事、11月に古田岐阜県知事及び一見三重県知事に対して松下支局長からそれぞれ説明を行ったほか、管轄区域内の愛知県、岐阜県及び三重県内約60の市町村等に対しても説明・配布を行い、地方協力本部が実施したものを合わせて、管轄区域内の全ての地方自治体への説明・配布を完了しました。



表紙に描かれた騎馬武者は、墨絵アーティスト西元祐貴氏の作画で、防衛省・自衛隊の「力強さ」、わが国の「強固な防衛意思」を表現しています。

防衛この1年

自由で開かれたインド太平洋

FOIPの維持・強化に向けたパートナーとの協働

FOIPの維持・強化に向けて協力を強化する国・地域

平和を仕事にする

全国で活躍する自衛官

全国で早期を守る経験の1日にスームアップ



愛知県 大村知事 (写真右)



三重県 一見知事 (写真右)



岐阜県 古田知事 (写真左)

一般県道岐阜那加線

(道路改修等事業)

岐阜飛行場
周辺

防衛施設周辺対策事業とは、自衛隊等の行為または防衛施設の設置若しくは運用により生ずる障害を防止または軽減するため地方公共団体などが行う施設の整備などに対して行う補助事業です。

防衛施設周辺の補助事業 担当者会議の開催

令和3年11月17日及び18日、東海防衛支局において、周辺環境整備課並びに防音対策課主催により、適切な補助事業の遂行を目的とした「補助事業担当者会議」を開催しました。今回は、新型コロナウイルス感染症防止のため2日間に分け、合わせて2県11市町の担当者51名に参加いただきました。

会議では、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」の概要にはじまり、適切な事務手続きの運用や財産処分、予算要求等の留意事項等について説明し意見交換を行いました。会議終了後も、個別な質疑応答に熱が入るなど有意義な機会となりました。

今後定期的に関催し、関係自治体の補助事業担当者と共に調整できる場を作ってまいります。

【岐阜県担当者の声】

県道岐阜那加線は東海北陸自動車道の岐阜各務原インターに近接し、沿線には大型ショッピングモールがありますが、幅員が狭小なことから渋滞が発生し交通への支障を来していました。また、歩道が一部しかなく歩行者の安全が十分確保されていない状況でした。今回の道路整備により渋滞が解消されるとともに、歩行者や自転車の安全も確保され、利用者からは「道路が良くなり走行しやすくなった。」「歩道等が整備され安全になった。」と喜びの声が聞かれました。

本事業（道路改修等事業費補助金）は、岐阜県各務原市に所在する航空自衛隊岐阜基地を離着陸する航空機の飛行等による万一の事故に際する緊急避難・消防救難活動道路として、岐阜県が管理する一般県道岐阜那加線の改良・舗装事業（自転車・歩行者道設置を含む）です。

平成25～令和3年度までに事業費約6億7千万円に対し補助額約4億7千万円（補助率10分の7）の交付を行い、令和3年9月に完成しました。

本路線は、同基地の西方約2キロメートルの各務原市那加西浦町から那加緑町内に位置し、本事業では、車道幅員を約4・5メートルから6・5メートルに拡げ、更に道路の両側には自転車・歩行者道を設けるなど、延長約630メートルにわたり整備しました。

これにより、岐阜市から各務原市を経由して名古屋方面への補完的な経路として、また東海北陸自動車道岐阜各務原インターへの経路として、各務原市内の重要な交通網の一部となりました。

さらには、沿線の大型商業施設への経路として、多くの車両や自転車・歩行者の安全で円滑な通行を促す道路となりました。



【整備前】



【整備後】



【会議の様子】

「愛三岐の街から」



愛知県

大口町

おおぐち



鈴木雅博 大口町長

【輝く水と緑、元気な暮らしが
広がる自治のまち おおぐち】

大口町は、愛知県の北西部に位置し、犬山扇状地の東南部に位置する「木の葉」の形をしたまちです。東西約3・6キロメートル、南北約6・1キロメートル、総面積は13・61平方キロメートル。海抜40メートルから海抜15メートルのゆるい傾斜になっており、地質は木曾川からの土砂の堆積による沖積層をなし、耕作に適したものとなっています。町の真ん中を北東から南西に向かって五条川が流れ、川の堤には、「日本さくら百選」に選ばれている桜並木が続く、田園風景が広がる自然豊かなまちです。



おおぐち観鋭桜 初開花

一方で、昭和30年代から積極的に企業誘致を行ってきた結果、製造業を中心に、約670社を超える企業が町内各所に点在しており人々の生活と産業、自然が調和した環境が整っています。また本町は、国宝松江城を築城した武将、堀尾吉晴公の生誕地としても知られており、平成27年の松江市との姉妹都市提携以降、官民問わず多方面の交流が活発に育まれています。さて、大口町が町のシンボルとしております五条川堤の桜並木は、本町の初代町長 社本鋭郎氏をはじめとする先人たちの郷土への強い想いによって植えられたものです。しかし、植樹から60年以上が経過し、多くの五条川堤のさくらが寿命とされる時期を迎えます。



桜満開の五条川

この素晴らしい桜並木を次世代へ受け継ぐべく対応が急務となる中、当町に所在する津島社と諏訪社にある樹齢百年以上といわれるエドヒガン系桜を当町の古来種と認め、その冬芽をクローン技術により組織培養、増殖することに成功し、以来、桜の植え替えに備え育成してきました。『おおぐち観鋭桜かんえつぎくら』と命名されたこの桜は、順次、植樹が進められており、大口町の桜の歴史と風景を将来に渡って引き継いでいきます。春の訪れとともに満開の姿を見せてくれる桜並木を、是非、多くの方に観賞いただければと思います。

【自衛隊との関わり】

当町の北部や南部の空に目を向けますと、岐阜基地や小牧基地より飛び立った自衛隊航空機が飛行する姿を見ることが出来ます。これまで、それぞれの自衛隊基地から、季節の催しとして開催されます「観桜会」や「納涼祭」、大勢の方が楽しみにしておられる「航空祭」などのご案内をいただき、隊員の皆様と親睦を深めさせていただきます。

今後、様々な機会を通して情報をご提供いただき、交流を深め、自衛隊の活動に多くの皆様から理解が深められることを期待しております。



「おおぐち光燈路」(堀尾跡公園)

近畿中部防衛局長感謝状伝達

(東海防衛支局管内分)

令和3年11月1日の自衛隊記念日に際して、東海防衛支局の管轄区域内の自治体の長に対し、近畿中部防衛局長から感謝状をお贈り致しました。感謝状をお贈りした方は次の4氏です。

- 岐阜県各務原市 浅野健司市長
- 愛知県春日井市 伊藤太市長
- 愛知県小牧市 山下史守朗市長
- 三重県伊勢市 鈴木健一市長

なお、感謝状は、それぞれの市庁舎において、近畿中部防衛局長に代わり松下支局長から伝達させて頂いていただきました。

4氏におかれましては、首長に就任以来、長年にわたり、我が国の防衛に対する深い理解と強力なリーダーシップにより、東海防衛支局の業務の円滑な遂行に寄与され、各市に所在する駐屯地や飛行場等の防衛施設の安定的使用に尽力されるなど多大な貢献に感謝の意を表したものです。

当支局としても、感謝状を受領された4氏をはじめ各自自治体の皆様には、日頃から当支局業務の円滑化及び各防衛施設の安定的な使用にご理解とご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

今後、皆様の平和と安全を守るべく業務に邁進していくとともに防衛施設の安定的な使用、安全な運用に取り組んでまいりますので引き続きご理解とご協力を宜しくお願い致します。



各務原市 浅野市長 (11月19日)



春日井市 伊藤市長 (11月9日)



小牧市 山下市長 (11月22日)



伊勢市 鈴木市長 (11月15日)

岐阜基地開庁記念ランウェイウォーク2021

航空自衛隊岐阜基地

令和3年11月14日、航空自衛隊岐阜基地にて、『岐阜基地開庁記念ランウェイウォーク』が開催されました。

新型コロナウイルス感染拡大により、昨年引き続き中止となった航空祭に代わる周辺住民の皆さんとの交流の場として開催した『ランウェイウォーク』は、岐阜基地の滑走路を歩くことに加えて北地区で装備品を観ていただくものです。

今回は、感染防止のため、事前にHPで応募された方の中から抽選により当選した約5千名が来場。基地では、入場前に体温を測定したり密にならないように誘導するなど感染対策を万全にしつつも、来場者に楽しんでいただけるよう、滑走路上にF-4ファントム1号機（昨春引退）を駐機するなど工夫を凝らしての開催となりました。

その甲斐あって、来場者は滑走路に直接触れたり座ったり走ったりと、普段は自衛隊員でも立ち入れない広々とした滑走路を、思い思いに楽しみながら感慨深く歩いていました。

また、装備品展示では、C-1



思い思いにランウェイウォーク！
（写真提供：航空自衛隊岐阜基地）

輸送機の機内やF-15戦闘機のcockpitの見学など、航空祭でも馴染みのコーナーもあり、皆さん笑顔で巡っていました。基地広報担当者も、皆さんの表情を見て「飛行展示はできなかつたが皆さん理解してくれていると思う。やって良かった。」と嬉しそうに語っていました。

防災ヘリ防災訓練支援

航空自衛隊高蔵寺分屯基地

令和3年11月18日、航空自衛隊高蔵寺分屯基地は、愛知県防災航空隊及び春日井市消防本部が実施した「合同訓練」を支援しました。

この訓練は、山林火災等発生時に防災航空隊ヘリコプター（防災ヘリ）の機体から吊り下げられた消火バケツに消防車から給水し、それを火災現場上空で放水する消火活動を演練するもので、分屯基地側は、場外離着陸支援態勢を発生して同訓練を支援しました。

当日、分屯基地上空に飛来した防災ヘリは、場外離着陸場に着陸し消火バケツを装着、ホバリング状態で給水と放水を4回繰り返した後、消火バケツを取り外して基地から離脱し訓練は終了しました。

消火バケツに、いざ給水！

（写真提供：航空自衛隊高蔵寺分屯基地）

分屯基地担当者は、「初めての訓練支援だったが、消防本部との入念な調整により無事に訓練支援を終了し、場外離着陸支援及び消火活動に関する成果を得ることが出来ました。」と話していました。



東海三県の防衛生産・技術基盤
防衛装備品関連企業紹介
三菱重工業(株)名古屋航空宇宙システム製作所

東海防衛支局では、防衛省・自衛隊が使用する装備品の調達にあたり、品質管理に精通した検査官により、厳格な監督・検査業務を実施しています。

このコーナーでは、我が国の防衛力を支える、重要かつ不可欠な要素である防衛生産・技術基盤として貢献している製造会社を紹介いたします。

自衛隊主力航空機の製造を担う

三菱重工業株式会社名古屋航空宇宙システム製作所は、1920年に三菱内燃機製造株式会社名古屋工場として発足以来、百年以上にわたり日本の航空機製造に携わってまいりました。

現在、各自衛隊で活躍している主な航空機のうち、世界有数の戦闘能力を持つ名戦闘機であり、且つ、電子装備及び搭載装備の近代化が進められている航空自衛隊F-15J/DJ戦闘機のほか、SH-60K哨戒ヘリコプターをベースに、我が国周辺海域の対潜戦の優位性確保等を目的とした能力向上型の開発など、各自衛隊の主要装備品を同社が納入しています。

航空機部品等については、主に大江工場（愛知県名古屋市長区）、機体の最終組立については、県営名古屋空港と隣接する小牧南工場（愛知県西春日井郡豊山町）が担っています。



小牧南工場



大江工場



(写真左側) 当時としては、長い航続距離を誇り、格闘性能に優れた「零式艦上戦闘機」の復元機。実機の残骸を回収し、1990年に復元された。

(写真右側) ジェット機の始祖とも言える、日本初のロケットエンジン搭載局地戦闘機「秋水」の復元機。

(写真提供：三菱重工業(株)名古屋航空宇宙システム製作所)

航空機製造の歴史

大江工場の一角に2020年1月より一般公開を開始した「大江時計台航空史料室」(見学は予約制)は、航空機製造の黎明期に関する展示をしています。戦前から手掛けた航空機製造に関する貴重な資料が数多く展示されています。

技術資料等の実物や写真パネルといった貴重な展示物ばかりですが、特に目を引かれるのが、「零式艦上戦闘機(ゼロ戦)」や局地戦闘機「秋水」の復元機の展示です。格納庫を思わせる展示場所に鎮座するその雄姿は、実機さながらの迫力あるものとなっています。

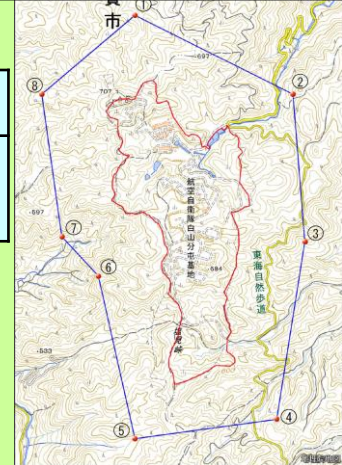
小型無人機等飛行禁止法に基づく対象防衛関係施設の指定

昨年12月に航空自衛隊白山分屯基地が、新たに小型無人機等飛行禁止法に基づく対象防衛関係施設に指定されましたのでお知らせします。

対象防衛関係施設とその周辺地域
(航空自衛隊白山分屯基地)

令和3年12月20日公布(令和3年12月30日施行)(東海3県分)

施設名	所在地	施設の管理者	問い合わせ先
航空自衛隊 白山分屯基地	三重県津市 白山町大原297	白山分屯基 地司令	059-269- 3111



対象施設の区域
対象施設周辺区域

詳しくは、防衛省ホームページをご覧ください。

<https://www.mod.go.jp/j/presiding/law/drone/index.html>



自衛隊地方協力本部からのお知らせ

地方協力本部(地本)は、各都道府県にある自衛隊の総合窓口です。

愛知地方協力本部 (電話) 052-331-6266 https://www.mod.go.jp/pco/aichi/		<ul style="list-style-type: none"> ●「自衛隊 広報ルーム」(名古屋市中村区椿町21-2 第3太閤ビル1階) 自衛隊の写真パネルや模型、実物大の装備品などを展示している楽しいスポットです。自衛隊グッズがゲットできるイベントDAYもありますので、ぜひ遊びに来てください!
岐阜地方協力本部 (電話) 058-232-3127 https://www.mod.go.jp/pco/gifu/		<ul style="list-style-type: none"> ● 自衛隊広報センター「自衛館」(岐阜市神田町9-4) 自衛隊のパネルや「親子プラモデル教室」で作成されたプラモデル、装備品の模型などを展示している楽しいスポットです。ぜひ遊びに来てください♪
三重地方協力本部 (電話) 059-225-0531 https://www.mod.go.jp/pco/mie/		<ul style="list-style-type: none"> ● 各種イベントや自衛隊に関する情報を紹介! HP及びTwitterで各種イベントやZOOMによる自衛隊説明会の案内を行っています。詳しくは、左記アドレスからご確認ください。

自衛官募集案内

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日	合格発表
自衛官候補生	18歳以上 33歳未満の者	年間を通じて行っています。	受付時にお知らせします。	合格発表時期は試験時にお知らせします。

新着任者紹介



装備課長
2等空佐 西岡 龍雄
令和3年12月3日付

幹部候補生、一般曹候補生(令和5年春入隊分)の受付は、3月1日からです。(各締切日に注意してください。)
これらを含めた自衛官等採用案内を、防衛省ホームページに掲載していますので、是非ご覧ください!
詳しくは、最寄りの地方協力本部までお問い合わせください。

☆『令和4年度自衛官等採用案内』

<https://www.mod.go.jp/gsd/f/jieikanbosyu/new/img/index/topics/r4nittei.pdf>



発行: 東海防衛支局広報誌編集委員会
〒460-0001

愛知県名古屋市中区三の丸2-2-1 名古屋合同庁舎第1号館 電話052-952-8212
2022年(令和4年)春号(通巻第50号) <https://www.mod.go.jp/rdb/tokai/>

